

第3回 広報委員会

平成28年12月5日、第3回広報委員会(委員長：原 孝、(株)リンクレア代表取締役会長)が、JISA 会議室において16名の出席により開催された。

1. 第3回 YIF の開催報告と第4回 YIF の開催について

10月21日(金)、東京コンベンションホールで開催された [JISA Digital Masters Forum2016\(JDMF2016\)](#)において [第3回 YIF](#) を挙行した旨の報告があった。

YIF は、「会員の」「会員による」「会員のための」をコンセプトに JISA Spirit を体現するイベント。会員企業の若手現場社員を対象としている。事前の申込登録者数は63名、参加者は48名(アンケート回収数)、20代38%、30代31%と7割弱が若手。アンケートから参加者の反応を紹介する。

- ・回答者の多くが若手であるため、若手の現場社員の交流の場をもとめる声は参加者の8割近くに上る。しかし、7割が平日の昼間の時間帯の開催で、発表者ではなく、聴衆としてであれば参加したいとの回答が7割以上に上る。
- ・一番興味深かったプレゼンとしてユニトランド熊谷氏とインテージテクノスフィア山川氏の発表がほぼ同数。受託開発の仕事よりも、新規事業の企画と立上げに関心をもつ人が多いといえるかもしれない。
- ・とはいえ、社外のイベントの企画運営には手を挙げる人が極めて少ない(2名)ことから、プライベートではなく仕事として新しいことに取組みたいことが窺える。
- ・参加の動機をみると、今回は JDMF 内での開催であるが、「上司等知り合いからきいて」(38%)、「社内のイントラネット掲載・メール配信」(19%)と合わせて過半数を超えている。前回までと同様、クチコミによるものが多い。
- ・意見としては、様々なテーマでの話が聞けてよかったとの感想が聞かれた。また若手の発表の場を設定したことに対する評価もあった。委員からは手作り感がよい、若手の生き活きとした発表も良かったとの感想がきかれた。

第4回は、関西地区会との共催により、来年2月21日(火)にグランフロント大阪で開催予定の旨を事務局から紹介した。

2. 第2回記者向け勉強会 発表者募集状況報告

広報委員会では、本年度、マスコミに対する情報サービス産業の社会的意義の発信を通じた、(1)業界全体の認知度向上、(2)業界情報の発信者としての JISA の認知度向上、(3)会員企業の認知度向上を目的とした「記者向け勉強会」を企画開催することとしている。

8月に開催した第一回記者向け勉強会では、「プログラミング教育必修化を見据えた業界の取組み」をテーマに、参加した新聞、雑誌、Web メディアの記者

17名に対し、広報委員会に属する会員企業3社から小中学生向けプログラミング教育の実践事例を紹介し、その結果、新聞に1件、WEBメディアに2件の記事が掲載された。

第2回では、マスコミ記者の注目度・関心度が高い、「スポーツとIT」をテーマとし、開催に向けて、「スポーツとIT」の取り組みを紹介する会員企業を広く募集中。本会合では、開催準備に向けて検討していくことを確認した。

このほか、JISA Spiritのポスターの改訂版製作の検討、来年度の事業計画の策定状況の報告を行った。

(田中)